

富田小 学校通信

9月6日
校長 蛭原

2学期、どんなことを、どのようにがんばるのかな

2学期がはじまって1週間が経ちました。右の写真は始業式の様子ですが、夏休み明けということもあって、子どもたちは少々お疲れモード。

リモートでの始業式では、「失敗しても次またがんばればいいさ。チャレンジすることが大事」という内容を、アニメの「サザエさん」のカツオ君を例に話をしました。

富田っ子が勉強することはもちろんですが、スポーツ、習い事、読書等々、何かに懸命にチャレンジする姿に期待したいと思います。



先生方それぞれが工夫した多様な学習方法



5年生の教室をのぞいてみると、新聞を広げてペアで話し合っていました。これは国語の学習で新聞のつくりについて調べ、自分の新聞づくりに生かしていく学習です。



校舎3階から1階に降りてくると、1年生の教室からにぎやかで楽しそうな声が聞こえてきました。どうやら算数の学習みたいです。「11から20までの数」を担当の先生とゲームをしながら覚えていました。

夏休みの間、タブレット活用に関する職員研修を行い、2学期からはさらに各学年や学級の実態にあわせてタブレットを活用した授業に取り組んでいきます。タブレットの活用はもちろんですが、新聞などの実物を活用したりゲームを通して学習内容を理解させたりなど、先生方それぞれが工夫した多様な学習方法で授業を進めています。

コロナ関連により、参観日の実施方法やその他の行事等の内容を変更し、たいへんご迷惑をおかけしております。子どもたちが学校で楽しく過ごせるよう努力してまいりますので、どうぞご支援・ご協力をお願いいたします。